

新居浜の海辺の生き物







はじめに

新居浜市には、磯、砂浜、河口干潟などの多様な海岸線が残されています。

平成23年度に、市内東部の海岸において、海辺の水生生物の観察会を開催したほか、生息する生き物の調査をし、多様な生き物がいることがわかりました。

同じ海辺でも、磯と干潟では生き物たちの種類もずいぶん違ってきます。そのどちらも身近に観察できるのが、新居浜の海の特徴です。

この冊子をご覧になり、海辺の環境やそこにすむ生き物のことを知り、新居浜市の自然環境を考えるきっかけになればと思います。



新居浜市環境保全課



目次

新居浜市の海岸について.....	2
海岸で観察する時の注意.....	3
国領川河口.....	4~7
アシハラガニ.....	5
マメコブシガニ.....	5
コメツキガニ.....	5
クチバガイ.....	6
フトヘナタリ.....	6
ソトオリガイ.....	6
タカノケフサイソガニ.....	7
ハクセンシオマネキ.....	7
カクベンケイガニ.....	7
黒島海岸.....	8~19
ホンヤドカリ.....	9
ケアシホンヤドカリ.....	9
ユビナガホンヤドカリ.....	9
イソカニダマシ.....	10
ヨツハモガニ.....	10
イシガニ.....	10
イソガニ.....	11
ヒライソガニ.....	11
カメノテ.....	11
シロスジフジツボ.....	12
クロフジツボ.....	12
フナムシ.....	12
ヒザラガイ.....	13
アマガイ.....	13
マツバガイ.....	13
ヨメガカサ.....	14
シボリガイ.....	14
ウノアシ.....	14
タマキビ.....	15
イボニシ.....	15
コベルトカニモリ.....	15
オオヘビガイ.....	16
カリガネエガイ.....	16
イガイ.....	16
オハグログキ.....	17
ドロメ.....	17
ナベカ.....	17
ダイダイイソカイメン.....	18
ヨロイイソギンチャク.....	18
ウミケムシ.....	18
イトマキヒトデ.....	19
ニホンクモヒトデ.....	19
ムラサキウニ.....	19
阿島川河口.....	20~25
アナジャコ.....	20
ニホンスナモグリ.....	21
イソテッポウエビ.....	21
スナガニ.....	21
オサガニ.....	22
キンセンガニ.....	22
ヒメケハダヒザラガイ.....	22
ウスヒザラガイ.....	23
マルウズラタマキビ.....	23
ウミニナ.....	23
フトヘナタリ.....	24
ヒメツメタ.....	24
アラムシロ.....	24
アカニシ.....	25
マテガイ.....	25
ヤッコカンザシ.....	25
荷内海岸.....	26~29
アオガイ.....	27
ヒメクボガイ.....	27
スガイ.....	27
ナミマガシワガイ.....	28
ケガキ.....	28
エガイ.....	28
シモフリシマハゼ.....	29
ダイナンギンボ.....	29
イソヘラムシ.....	29
生き物リスト.....	30~33
国領川河口.....	30
黒島海岸.....	31
阿島川河口.....	32
荷内海岸.....	33



新居浜市の海岸について

工業が盛んな新居浜市ですが、様々なタイプの自然海岸が残されています。

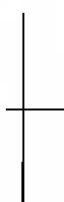
河口干潟

阿島川河口、国領川河口には河口干潟がみられます。どちらも砂質から砂泥質の干潟で、瀬戸内海の多くの干潟が埋め立てにより消失した中で貴重な存在となっています。



れき 礫海岸

荷内海岸、黒島海岸に見られます。こぶし大から一抱えもあるような大きな礫まで様々な大きさの礫が見られます。礫の下は多くの生き物のすみかになっています。



砂浜

垣生の海岸や新居大島には砂浜があります。

磯

黒島海岸、荷内海岸にみられ、潮が引いた時にできる水たまり（タイドプール）に多くの生き物が見られます。

海岸で観察する時の注意

海岸の生き物を観察する時は、潮が引いている時（干潮）を確認して出かけましょう。

干潮、満潮の時間は、新聞に掲載されているほか、釣り具屋さんでも手に入れることができます。

日次	七曜	旧暦	満潮				干潮				潮名
			時刻		潮位		時刻		潮位		
			時分	cm	時分	cm	時分	cm	時分	cm	
1	日	3/11	2:37	109	12:21	107	7:35	97	20:03	44	若中
2	月	3/12	3:27	119	14:32	114	9:09	84	21:10	37	中中
3	火	3/13	3:59	130	15:40	129	9:50	67	21:59	29	中中
4	水	3/14	4:29	142	16:31	146	10:27	47	22:42	23	大大
5	木	3/15	5:00	153	17:16	160	11:04	27	23:22	22	大大
6	金	3/16	5:32	162	18:04	171	11:42	8	—	—	大大
7	土	3/17	6:05	168	18:50	175	0:02	26	12:21	-4	大大
8	日	3/18	6:39	170	19:36	172	0:41	34	13:02	-13	中中
9	月	3/19	7:13	168	20:24	162	1:20	46	13:45	-12	中中
10	火	3/20	7:47	162	21:16	148	1:59	60	14:30	-5	中中
11	水	3/21	8:22	152	22:16	134	2:40	78	15:20	8	中中

岩場にあるカキ殻やフジツボはとがっていて危険なので、長靴をはき、軍手を着用しましょう。



▼オハグロガキ

▲ケガキ

◀シロスジフジツボ

観察ポイント①

国領川河口



国領川の河口に広がる、河口干潟。

干潮時には砂質の干潟
が出現するが、生物は
少ない。



新高橋の下流側には、
砂泥質の川底にヨシ
やハマサジなどの
植物が生育する。
アシハラガニや
フトヘナタリが多い。



ヨシが生えるような、
泥地に穴を掘ってすむ。

アシハラガニ (イワガニ科)



砂地にすむ。潜らず、
表面で見つけることが
多く。あまり動かない。
甲羅は丸く固い。

マメコブシガニ (コブシガニ科)



砂地に穴を掘ってすむ。
巣穴の周りには、小さな
砂団子が見られる。

コメツキガニ (スナガニ科)



貝殻は薄い茶色の膜（殻皮）に覆われる。

クチバガイ（チドリマスオ科）



殻の頂上（殻頂）は欠けている。満潮時にはヨシに登ることもある。

フトヘナタリ（フトヘナタリ科）



砂地にすむ。殻は薄く、半透明。殻は閉じても隙間が開く。

ソトオリガイ（オキナガイ科）



はさみ（鋏脚）の外側に毛の束がある。転石があるところに多い。

タカノケフサイソガニ（イワガニ科）



片方のはさみ（鋏脚）が白く大きいので目立つ。砂地にすむ。

ハクセンシオマネキ（スナガニ科）



護岸のすき間や大きな岩のすき間にすむ。動きが早い。

カクベンケイガニ（イワガニ科）

観察ポイント②

黒島海岸

黒島海浜公園に面し、
駐車場やトイレも完備されて
いる。



黒島海岸は転石と岩礁の海岸。



手軽に磯にすむ生きものが観察できる。



脚（歩脚）の先端
が白い。

ホンヤドカリ（ホンヤドカリ科）



殻から
出したところ。

脚（歩脚）に毛が
はえる。

ケアシホンヤドカリ（ホンヤドカリ科）



脚（歩脚）が白と
茶色のまだら模様。

ユビナガホンヤドカリ（ホンヤドカリ科）



カニに似ているが
ヤドカリの仲間。
転石の下にすむ。

イソカニダマシ(カニダマシ科)



岩場や海藻のある
所にすむ。
体の棘に海藻をつけて
身を隠す。

ヨツハモガニ (クモガニ科)



ガザミの仲間。
転石の下にすむ。
はさみは太くて
頑丈。

イシガニ (ガザミ科)



転石の下にすむ。
最も普通に見られる
カニ。オスのはさみ
には、小さな袋がある。

イソガニ (イワガニ科)



転石の下にすむ。
最も普通に見られる
カニ。甲羅の色は
白から茶まで様々。

ヒライソガニ (イワガニ科)



岩の隙間にすむ。
貝のように見えるが、
エビやカニの仲間。

カメノテ (ミョウガガイ科)



最も普通に見られる
フジツボ。
岩に密生する。

シロスジフジツボ (フジツボ科)



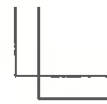
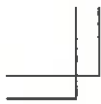
直径2cm以上にもな
る大型のフジツボ。
岩場に見られるが
数は少ない。

クロフジツボ (クロフジツボ科)



岩場や転石のある所
にすむ。防波堤や
海岸の林内でも見ら
れる。

フナムシ (フナムシ科)



岩に付着する。
中央の殻（殻板）
は固く、幅が広い。

ヒザラガイ（左）（クサズリガイ科）



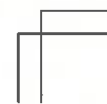
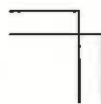
殻の表面は滑らか。
転石などに付着
する。

アマガイ（アマオブネガイ科）



岩に付着する。
殻に放射状の模様
が入る。

マツバガイ（ツタノハガイ科）





殻は薄く、細い放射状の筋がある。岩に付着する。

ヨメガカサ(ツタノハガイ科)



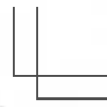
1cmほどのカサガイ。転石の表面などに付着している。

シボリガイ(ユキノカサガイ科)



七本の白い放射状のすじが目立つ。

ウノアシ(ユキノカサガイ科)



岩の隙間に集団で見られる。

タマキビ(タマキビ科)



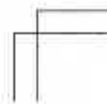
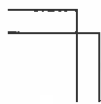
岩の下や隙間にすむ。

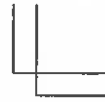
イボニシ(アッキガイ科)



別名コオロギガイ。
貝殻の先端はとがる。

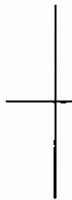
コベルトカニモリ (オニノツノガイ科)





岩の隙間に集団で見られる。

タマキビ(タマキビ科)



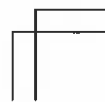
岩の下や隙間にすむ。

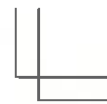
イボニシ(アッキガイ科)



別名コオロギガイ。
貝殻の先端はとがる。

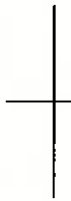
コベルトカニモリ (オニツノガイ科)





巻貝の仲間。
岩に付着する。

オオヘビガイ(ムカデガイ科)



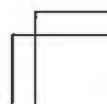
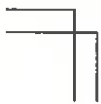
足糸で岩の隙間など
に付着する。

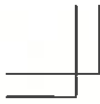
カリガネエガイ(フネガイ科)



足糸で岩の隙間など
に付着する。

イガイ(イガイ科)





貝殻の縁が波打ち、
紫色。

オハグロガキ(イタボガキ科)



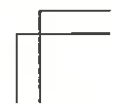
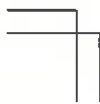
タイドプールなどで
よく見られる。

ドロメ(ハゼ科)



タイドプールなどで
よく見られる。

ナベカ(イソギンポ科)





岩に付着し、形は
不規則。
オレンジ色が目立つ。

ダイダイイソカイメン(イソカイメン科)



直径3 cm以上になる。
タイドプールや岩の
割れ目に見られる。
触手の付け根に砂
などを付けている。

ヨロイイソギンチャク(ウミツギンチャク科)



ゴカイの仲間。
体の両側にある棘
には毒があり、注意
が必要。

ウミケムシ(ウミケムシ科)



五角形のヒトデ。
暗い青から緑の体色
に不規則なオレンジ色
の模様が入る。

イトマキヒトデ(イトマキヒトデ科)



転石の下にすむ。
日本固有種。

ニホンクモヒトデ(クモヒトデ科)

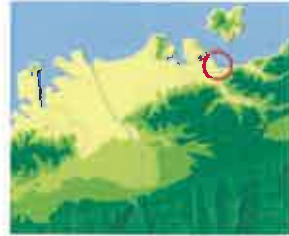


殻、棘ともに濃い
紫色。岩のくぼみ
や転石の下にすむ。

ムラサキウニ(ナガウニ科)

観察ポイント③

阿島川河口



阿島川の河口に広がる、砂質～砂泥質の干潟。
スナガニが多く見られる。



砂泥に深い巣穴を
掘ってすむ。

アナジャコ (アナジャコ科)



砂泥に巣穴を掘ってすむ。はさみは片方が大きい。

ニホンスナモグリ (スナモグリ科)



干潟に埋まった石の下にいることが多い。腹部に白っぽい筋が入る。

イソテッポウエビ (テッポウエビ科)



砂浜に穴を掘ってすむ。動きが速く、捕まえるのが難しい。

スナガニ (スナガニ科)



オスの腹面

砂に潜り、長い眼だけを出していることがある。

オサガニ (スナガニ科)



海底の砂に潜っていることが多い。
甲羅は黄色っぽく、紫の模様が目立つ。

キンセンガニ (カラッパ科)



転石に付着する。
中央の殻 (殻板) の両側に9対の毛の束がある。

ヒメケハダヒザラガイ (ケハダヒザラガイ科)



転石の裏に付着する。
殻（殻板）の色は様々。

ウスヒザラガイ（ウスヒザラガイ科）



コンクリートの隙間
などに多い。

マルウズラタマキビ（タマキビ科）



砂地の表面で見られる。

ウミニナ（ウミニナ科）



砂泥地の表面に多い。
殻の先端が欠けている
ことが多い。

フトヘナタリ (フトヘナタリ科)



砂地に潜っていること
が多い。アサリなど
二枚貝を捕食する。

ヒメツメタ (タマガイ科)



砂泥地の表面に多い。
魚や貝の死骸に群れる。

アラムシロ (ムシロガイ科)



アカニシ(アッキガイ科)

深い所には大型の個体がすむが、沿岸で見つかるものは小さい。



マテガイ (マテガイ科)

砂地に縦になって潜っている。近年、東予地方の海岸で多い。



ヤッコカンザシ (カンザシゴカイ科)

岩に付き、殻を持つがゴカイの仲間。

観察ポイント④
荷内海岸



砂岩の転石が広がる。生物はやや少ない。



東側には磯があり、タイドプールもある。



殻は平たい。
転石の下に張り付く。

アオガイ(ユキノカサガイ科)



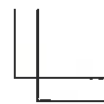
転石の下に多い。
裏返すと中心(臍孔^{さいこう})
がくぼんでおり、穴が
あるように見える。

ヒメクボガイ(ニシキウズ科)



蓋が石灰質で丸く盛り
上がる。殻に緑藻が付いて
いることが多い。
食用とされる。

スガイ(サザエ科)



石などの平らな面に
付着している。
貝殻は薄い。

ナミマガシワガイ (ナミマガシワガイ科)



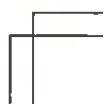
岩などに付着する。
殻の表面に筒状の棘が
ある。

ケガキ (イタボガキ科)



岩の隙間などに足糸
で付着する。

エガイ (フネガイ科)





タイドプールなどで見られる。

シモフリシマハゼ (ハゼ科)



石の下などにすむ。
磯で釣れることもある。

ダイナンギンポ (タウエガジ科)



石の下で見られる。
フナムシなどの仲間。

イソヘラムシ (ヘラムシ科)

国領川河口の生き物リスト

No.	門	目	科	種
1	軟体動物	原始腹足	ユキノカサガイ	シボリガイ
2			ニシキウス	イシダタミ
3		中腹足	タマキビ	アラレタマキビ
4				ウズラタマキビ
5			フトヘナタリ	フトヘナタリ
6		新腹足	アッキガイ	イボニシ
7		ウグイスガイ	イタボガキ	マガキ
8		イガイ	イガイ	ムラサキイガイ
9		マルスダレガイ	チドリマスオ	クチバガイ
10		ウミタケモドキ	オキナガイ	ソトオリガイ
11		巻貝	コウダカカラマツガイ	カラマツガイ
12	節足動物	十脚目異尾下	ホシヤドカリ	ユビナガホシヤドカリ
13			ツノヤドカリ	テナガツノヤドカリ
14			スナモグリ	ニホンスナモグリ
15		十脚目短尾下	ゴブシガニ	マメゴブシガニ
16			スナガニ	ヤマトオサガニ
17				テヨガニ
18				コメツキガニ
19				ハクセンシオマネキ
20			イワガニ	カクベンケイガニ
21				ユビアカベンケイガニ
22				タカノケフサイソガニ
23				アシハラガニ
24				ハマガニ
25		無柄	フジツボ	シロスジフジツボ

黒島海岸の生き物リスト

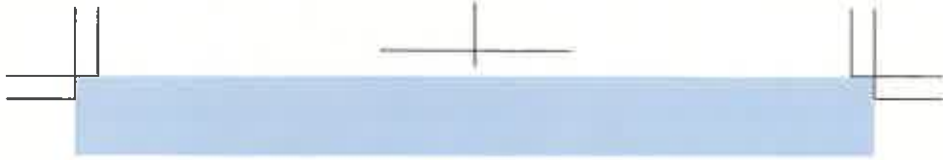
No.	門	目	科	種
1	海綿動物	櫛水綿	イソカイメン	ダイダイイソカイメン
2	刺胞動物	イソギンチャク	ウメボシイソギンチャク	ヨロイイソギンチャク
3				ミドリイソギンチャク
4			タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク
5	環形動物	ケヤリムシ	カンザシゴカイ	カサネカンザシ
6				ヤッコカンザシ
7			ツバサゴカイ	ムギワラムシ
8			ウミケムシ	ウミケムシ
9	軟体動物	新ヒザラガイ	クサズリガイ	ヒザラガイ
10			ケハダヒザラガイ	ケハダヒザラガイ
11			ウスヒザラガイ	ウスヒザラガイ
12		原始腹足	アマオブネガイ	アマガイ
13			ツタノハガイ	マツバガイ
14				ヨメガカサ
15			ユキノカサガイ	シボリガイ
16				ウノアシ
17				アオガイ
18			ニシキウス	イシダタミ
19				ヒメクボガイ
20			サザエ	スガイ
21		中腹足	タマキビ	タマキビ
22				アラレタマキビ
23		新腹足	アッキガイ	イボニシ
24				レイシガイ
25			オニツノガイ	コベルトカニモリ
26			ムカデガイ	オオヘビガイ
27		フネガイ	フネガイ	カリガネエガイ
28		イガイ	イガイ	イガイ
29				ムラサキイガイ
30		ウグイスガイ	イタボガキ	マガキ
31				ケガキ
32				オハグロガキ
33		基眼	コウダカカラマツガイ	カラマツガイ
34	節足動物	十脚目コエビ下	テナガエビ	イソスジエビ
35		十脚目鼻尾下	ホンヤドカリ	ホンヤドカリ
36				ケアシホンヤドカリ
37				ユビナガホンヤドカリ
38			カニダマシ	イソカニダマシ
39			スナモグリ	ニホンスナモグリ
40		十脚目短尾下	クモガニ	ヨツハマガニ
41			ガザミ	イシガニ
42			イワガニ	カクベンケイガニ
43				アカイワガニ
44				イソガニ
45				ヒライソガニ
46		有柄	ミウガガイ	カメノテ
47		無柄	フジツボ	シロスジフジツボ
48			イワフジツボ	イワフジツボ
49			クロフジツボ	クロフジツボ
50		等脚目ワラジムシ亜	フナムシ	フナムシ
51	棘皮動物	ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ
52		閉蛇尾	クモヒトデ	ニホンクモヒトデ
53			トゲクモヒトデ	ナガトゲクモヒトデ
54		ホンウニ	ナガウニ	ムラサキウニ
55	腎索動物	スズキ	ハゼ	ドロメ
56			イソギンボ	ナベカ
57		トゲウオ	ヨウジウオ	タツノオトシゴ

阿島川河口の生き物リスト

No.	門	目	科	種
1	環形動物	イソメ	ツバサヨカイ	ツバサヨカイ
2		ケヤリムシ	カンザシヨカイ	ヤッコカンザシ
3	軟体動物	新ヒザラガイ	ケハダヒザラガイ	ヒメケハダヒザラガイ
4			ウスヒザラガイ	ウスヒザラガイ
5		原始腹足	ユキノカサガイ	シボリガイ
6				ツボミガイ
7			ツタノハガイ	ヨメガカサ
8			ニシキウス	インダタミ
9			サザエ	スガイ
10		中腹足	タマキビ	タマキビ
11				アラレタマキビ
12				マルウスラタマキビ
13			ウミミナ	ウミミナ
14			フトヘナタリ	ヘナタリ
15				フトヘナタリ
16			タマガイ	ヒメツメタ
17		新腹足	ムシロガイ	アラムシロ
18			アッキガイ	イボニシ
19				アカニシ
20		ウグイスガイ	イタボガキ	マガキ
21				ケガキ
22		イガイ	イガイ	ムラサキイガイ
23		マルスダレガイ	マルスダレガイ	アサリ
24				ヒメカノアサリ
25			マテガイ	マテガイ
26		基眼	コウダカカラマツガイ	コウダカカラマツガイ
27	節足動物	十脚目コエビ下	テッポウエビ	イソテッポウエビ
28		十脚目異尾下	ホシヤドカリ	ユビナガホシヤドカリ
29		十脚目アナジャコ下	スナモグリ	ニホンスナモグリ
30			アナジャコ	アナジャコ
31		十脚目短尾下	カラッパ	キンセンガニ
32			コブシガニ	マメコブシガニ
33			ガザミ	ガザミ
34			イワガニ	ケフサイソガニ
35				イソガニ
36				ヒライソガニ
37			スナガニ	オサガニ
38				スナガニ
39		有柄	ミヨウガガイ	カメノテ
40		無柄	フジツボ	シロスジフジツボ
41		等脚目ワラジムシ亜	フナムシ	フナムシ
42	星口動物	ホシムシ	ホシムシ	スジホシムシモドキ
43	棘皮動物	タコノマクラ	ハスノハカシパン	ハスノハカシパン
44		フンブク	ヒラタフンブク	オカメフンブク

荷内海岸の生き物リスト

No.	目	科	種
1	刺胞動物	イソギンチャク	ウメボシイソギンチャク
2			ヨロイイソギンチャク
3	軟体動物	タデジマイソギンチャク	タデジマイソギンチャク
4	新ヒザラガイ	ケハダヒザラガイ	ヒメケハダヒザラガイ
5	原始腹足	ユキノカサガイ	アオガイ
6		ニシキウス	イシダタミ
7		サザエ	ヒメクボガイ
8	中腹足	タマキビ	スガイ
9			アラレタマキビ
10	新腹足	アツキガイ	イボニシ
11	フネガイ	フネガイ	エガイ
12	ウグイスガイ	ナミマガシワガイ	ナミマガシワガイ
13		イタボガキ	ケガキ
14	節足動物	十脚目コエビ下	テナガエビ
15		十脚目異尾下	イソスジエビ
16			ホンヤドカリ
17		十脚目短尾下	ケアシホンヤドカリ
18		イワガニ	ヒライソガニ
19	等脚目	ヘラムシ	カクベンケイガニ
20	等脚目ワラジムシ亜	フナムシ	イソヘラムシ
21	脊索動物	スズキ	フナムシ
22		ハゼ	シモフリシマハゼ
		タウエガジ	ダイナンギンボ



新居浜の海辺の生き物
発行 平成24年7月

編集：特定非営利活動法人西条自然学校
発行：新居浜市環境部環境保全課
〒792-8585
新居浜市一宮町一丁目5番1号
☎ 0897-65-1512
印刷：原印刷株式会社

※この紙は水をはじく特殊紙を使っています。